

平成23年2月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ダイケン

コード番号 5900 URL <http://www.daiken.ne.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤岡 洋一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 北脇 昭

TEL 06-6392-5551

四半期報告書提出予定日 平成22年7月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	2,142	△3.8	73	—	73	—	37	—
22年2月期第1四半期	2,227	—	△118	—	△124	—	△82	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	6.44	—
22年2月期第1四半期	△13.98	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	12,499	9,302	74.4	1,582.83
22年2月期	12,730	9,331	73.3	1,587.73

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 9,302百万円 22年2月期 9,331百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	4,770	0.0	125	530.4	125	643.0	62	—	10.55
通期	10,200	1.2	450	14.9	450	19.7	225	14.2	38.28

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

〔(注)詳細は、4頁【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 5,970,480株 22年2月期 5,970,480株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 93,238株 22年2月期 93,238株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 23年2月期第1四半期 5,877,242株 22年2月期第1四半期 5,877,842株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成23年2月期の業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による景気対策や新興国の底堅い需要の継続により景気回復の兆しがあるものの、欧州発の金融不安の顕在化等で世界的な金融不安の連鎖から一進一退の厳しい状況にあります。

建築金物業界におきまして、主力市場である建設業界は、国内の景気動向の先行き不透明感が強く設備投資を含め需要は低水準に推移しております。また、経済環境を背景とした慎重な融資姿勢等により不動産市況は停滞し建設需要は低迷を続けており、当業界での企業間競争は極めて厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社は、原材料コストや生産人員配置の適正化等による労務コストの低減を積極的に進め、販売管理費の低減に取り組んでまいりました。

また、商品説明会の開催や取引先の展示会にも参画し、販売先へ緊密な営業活動を進め、収益の確保に取り組んでまいりました。

当第1四半期の売上高につきましては、新築着工件数が低調に推移していることや公共投資の抑制など、取り巻く環境は依然として厳しく、全体として前年同四半期比3.8%減の21億42百万円となりました。

利益面では、製造固定費及び販売管理費の削減に努めた結果、営業利益73百万円(前年同四半期は1億18百万円の損失)、経常利益73百万円(前年同四半期は1億24百万円の損失)、四半期純利益37百万円(前年同四半期は82百万円の損失)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期累計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ2億30百万円減少し、124億99百万円となりました。これは、たな卸資産が1億80百万円増加したものの、売上の減少に伴い売上債権が5億15百万円減少したことが主因であります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ2億1百万円減少し、31億96百万円となりました。これは、仕入高の減少に伴い仕入債務が2億30百万円減少したことが主因であります。

なお、純資産は、前事業年度末に比べ28百万円減少し、93億2百万円となりました。これは、利益剰余金が第1四半期純利益により37百万円増加したものの、前事業年度に係る配当金の支払により70百万円減少したことなどから、32百万円減少したことが主因であります。この結果、自己資本比率は74.4%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、仕入債務の減少2億28百万円、たな卸資産の増加1億80百万円、法人税等の支払額1億72百万円などにより支出増となったものの、税引前四半期純利益74百万円、売上債権の減少5億15百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて2億円減少し6百万円の収入となりました。

当第1四半期累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、機械装置などの有形固定資産の取得による支出37百万円などにより、前年同四半期累計期間に比べて65百万円支出が減少し53百万円の支出となりました。

当第1四半期累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済65百万円及び配当金の支払66百万円により収入減となったものの、短期借入金の純増額2億15百万円により、83百万円の収入(前年同四半期累計期間は6百万円の支出)となりました。

これらの結果、当第1四半期末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ31百万円増加し、7億5百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

現時点におきましては、平成22年4月12日に発表いたしました業績予想に修正はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 原価差額の配賦方法

予定価格等を採用しているために原価差額が生じた場合、当該原価差額の棚卸資産と売上原価への配賦方法を年度決算と比較して簡便的に実施する方法によっております。

③ 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化がなく、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前事業年度決算において採用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっており、前事業年度末以降に経営環境等に著しい変化があるか、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前事業年度決算において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,440,407	1,409,039
受取手形	2,153,425	1,958,419
売掛金	1,258,822	1,969,656
商品	6,923	3,513
製品	676,684	580,547
原材料	330,256	290,713
仕掛品	191,036	158,716
貯蔵品	31,102	22,186
繰延税金資産	126,815	101,793
その他	68,670	12,763
貸倒引当金	△684	△1,966
流動資産合計	6,283,462	6,505,383
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,469,319	2,499,807
機械及び装置(純額)	316,546	293,887
土地	2,248,027	2,248,027
その他(純額)	178,768	189,265
有形固定資産合計	5,212,661	5,230,988
無形固定資産		
	49,766	47,219
投資その他の資産		
投資有価証券	299,953	292,321
関係会社株式	20,000	20,000
保険積立金	501,319	498,251
破産更生債権等	25	25
繰延税金資産	10,419	12,440
その他	152,653	154,102
貸倒引当金	△30,649	△30,649
投資その他の資産合計	953,722	946,492
固定資産合計	6,216,150	6,224,700
資産合計	12,499,612	12,730,083

(株)ダイケン(5900) 平成23年2月期第1四半期決算短信(非連結)

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年5月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	354,570	470,055
買掛金	1,185,816	1,301,304
短期借入金	720,000	570,000
未払金	161,519	191,616
未払法人税等	63,742	181,945
未払費用	134,956	129,124
賞与引当金	236,929	148,361
役員賞与引当金	5,000	10,000
その他	78,915	145,314
流動負債合計	2,941,450	3,147,721
固定負債		
役員退職慰労引当金	189,800	186,175
その他	65,685	64,696
固定負債合計	255,485	250,871
負債合計	3,196,935	3,398,593
純資産の部		
株主資本		
資本金	481,524	481,524
資本剰余金	250,398	250,398
利益剰余金	8,623,889	8,656,557
自己株式	△53,520	△53,520
株主資本合計	9,302,291	9,334,959
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	386	△3,469
評価・換算差額等合計	386	△3,469
純資産合計	9,302,677	9,331,489
負債純資産合計	12,499,612	12,730,083

(2) 【四半期損益計算書】

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
売上高	2,227,376	2,142,365
売上原価	1,634,860	1,378,534
売上総利益	592,515	763,830
販売費及び一般管理費	711,042	690,166
営業利益又は営業損失(△)	△118,527	73,663
営業外収益		
受取利息	542	190
受取配当金	2,779	2,504
為替差益	—	3,025
その他	4,770	4,135
営業外収益合計	8,092	9,855
営業外費用		
支払利息	3,927	1,085
売上割引	6,002	6,593
休止固定資産減価償却費	—	2,214
その他	3,784	—
営業外費用合計	13,714	9,894
経常利益又は経常損失(△)	△124,149	73,625
特別利益		
貸倒引当金戻入額	31,939	1,282
特別利益合計	31,939	1,282
特別損失		
たな卸資産評価損	38,121	—
固定資産除却損	—	572
その他	1,117	—
特別損失合計	39,239	572
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△131,450	74,334
法人税、住民税及び事業税	950	62,048
法人税等調整額	△50,222	△25,571
法人税等合計	△49,272	36,476
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△82,177	37,858

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△131,450	74,334
減価償却費	84,015	79,548
たな卸資産評価損	38,121	—
引当金の増減額(△は減少)	65,545	85,911
受取利息及び受取配当金	△3,321	△2,694
支払利息	3,927	1,085
売上債権の増減額(△は増加)	590,122	515,824
たな卸資産の増減額(△は増加)	102,452	△180,327
仕入債務の増減額(△は減少)	△408,474	△228,202
その他の資産の増減額(△は増加)	△92,879	△50,312
その他の負債の増減額(△は減少)	△59,671	△61,115
未払消費税等の増減額(△は減少)	93,563	△61,769
その他	5,475	4,886
小計	287,425	177,170
利息及び配当金の受取額	3,258	2,691
利息の支払額	△3,602	△1,451
法人税等の支払額	△80,296	△172,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,785	6,260
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△107,137	△37,875
定期預金の預入による支出	△265,000	△265,000
定期預金の払戻による収入	265,000	265,000
その他	△11,164	△15,212
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,301	△53,087
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	150,000	215,000
長期借入金の返済による支出	△90,000	△65,000
配当金の支払額	△66,079	△66,911
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,079	83,088
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,310	△4,892
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	78,093	31,368
現金及び現金同等物の期首残高	725,994	674,039
現金及び現金同等物の四半期末残高	804,087	705,407

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

品 目	前年同四半期 (平成22年2月期第1四半期)		当四半期 (平成23年2月期第1四半期)		比較増減 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
建築金物	524,340	38.2	520,071	40.2	△4,269
外装用建材	180,602	13.2	116,969	9.0	△63,632
エクステリア	647,307	47.2	639,617	49.5	△7,689
その他	18,767	1.4	16,592	1.3	△2,175
合 計	1,371,018	100.0	1,293,250	100.0	△77,767

- (注) 1 金額については、製造原価で記載しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

品 目	受注高		受注残高	
	金額(千円)	前年同期比(%)	金額(千円)	前年同期比(%)
外装用建材				
外装パネル	24,079	202.4	42,430	43.8

- (注) 1 当社は、外装用建材の外装パネル以外の品目は見込生産で行っております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

品 目	前年同四半期 (平成22年2月期第1四半期)		当四半期 (平成23年2月期第1四半期)		比較増減 (△は減)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)
製品・商品					
建築金物	822,571	36.9	847,873	39.6	25,302
外装用建材	335,799	15.1	225,099	10.5	△110,699
エクステリア	834,404	37.5	843,118	39.3	8,714
その他	189,805	8.5	183,288	8.6	△6,516
小計	2,182,579	98.0	2,099,379	98.0	△83,199
不動産事業収入	44,796	2.0	42,985	2.0	△1,811
合 計	2,227,376	100.0	2,142,365	100.0	△85,011

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。